

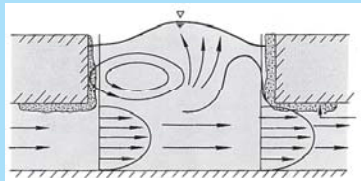
# テクノロック



## ■ 特長・ポイント

- 横穴が流れ方向に対し±45°の角度を持って作られていること。  
(魚の往来を可能とし、また、避難場所としての空間を確保し、水の滞留時間を長くする。洪水時にも比較的緩やかな流れを作る。)
- 縦穴があること。  
(中にグリ石を置くことにより生物膜の働きをより活発化。魚に居住空間を与える。)
- ブロックの表面が滑らかである(突起がない)。  
(抵抗が少なく、洪水時にも安全である)
- ボルトで縦横連結されコンクリート充填された一体構造である。  
(洪水時に威力を発揮する。流体力に対して強い)  
この事は生物膜や付着藻類との接触時間が長くなり、自浄作用を生かし易い構造となります。

### ブロック内の流況の様子



ブロックの流水口上に発生したコケ

※九州大学工学部建設都市工学科環境流体工学研究室調査研究報告書より

## ● 水環境

### 水質の浄化

#### ■ 機能

テクノロックは汚水、泥水の流入の受け入れをし、水の方向転換、濾化、攪拌、曝気、沈滞、分散、放流と連鎖的な繰返しで水質の浄化を果たしていきます。その事は構造物全体が連絡機能をはたしていきます。(水温の調整、光と陰) 礫間浄化(機能) 河川の浄化曝気により流水に空気中の酸素を同化させ、河川の活性化を促進します。つまりDO(溶存酸素量)の増加がならいます。

### 水に生息する生物の保護(環境造り) 魚巢、魚礁

※流量、水深、水温、水質、時間帯と四季の変化を通し水の変化を理解しましょう。

生態系 { 河川浄化→活性化→繁殖→産卵→孵化→幼化→成長(天敵)  
河川の汚物→バクテリア→珪藻→稚魚、稚貝→底魚(食物連鎖)  
水ミミズ 水苔 小魚、回遊魚、甲殻類(夜行性で雑食)

#### ■ 機能

- (イ) 魚貝類の餌となる微生物、浮遊珪藻、付着珪藻、水苔が繁殖に適した水温、水量等の調整に必要な大小無数の穴があります。
- (ロ) この大小の無数の魚巢口は(登り魚)(下り魚)の餌場となり魚介類の生息する場所区域となります。
- (ハ) 天敵から身を覆るにふさわしい(迷路)として多くの大小の連結した穴が特徴でもあります。

バイテク指向のブロックです。

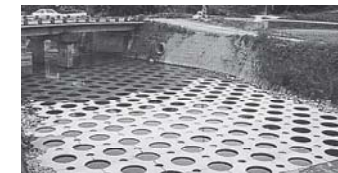
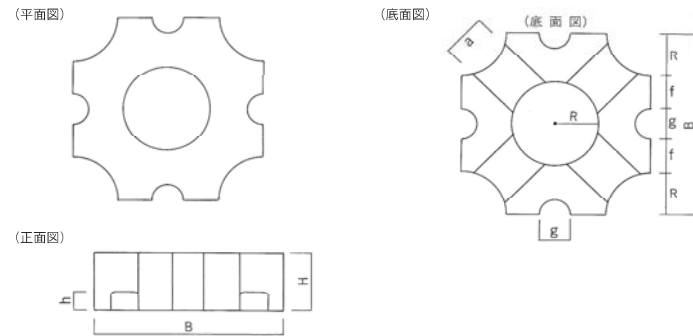
(河川に生息する生物達の生態系、自然のサイクル) を助け、河川環境を蘇らせるブロックです。

## ● 製品寸法図

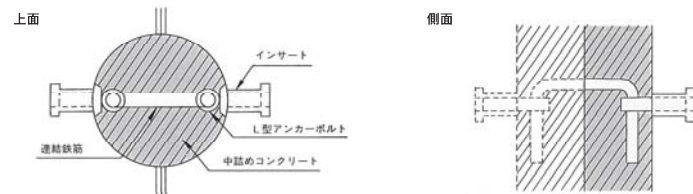
### テクノロックC型

(フィルターブロック・多目的ブロック・魚巢ブロック)

#### 寸法図



## ● 連結部詳細図



## ● テクノロック規格寸法表

名称	記号	寸法 (mm)							参考重量 (kg) 体積 (m³)	
		B	H	R	h	a	g	f	参考重量 (kg)	体積 (m³)
B200		880	200	250	60	200	176	102	144	0.061
C500-1.5		1,500	500	350	150~250	350	240	280	1,430	0.620
C800-2.0		1,500	800	350	450	350	240	280	2,010	0.890
C800-3.0		1,800	800	420	400	400	300	330	3,030	1.317
D500-1.7		1,500	500	350	150~250	350 (3ヶ所)	240 (3ヶ所)	280 (4ヶ所)	1,700	0.720
S100		1,500	100	—	—	—	—	—	520	0.225
S150		1,500	150	—	—	—	—	—	780	0.338

※名称の説明 B=ホタル用 C=標準品 D=端部用品 S=下端部用スラブ  
※寸法は河川の状況使用目的で異なる場合があります。